

令和元年度 第1回 豊島区総合高齢社会対策推進協議会

総合高齢社会対策の取り組みについて

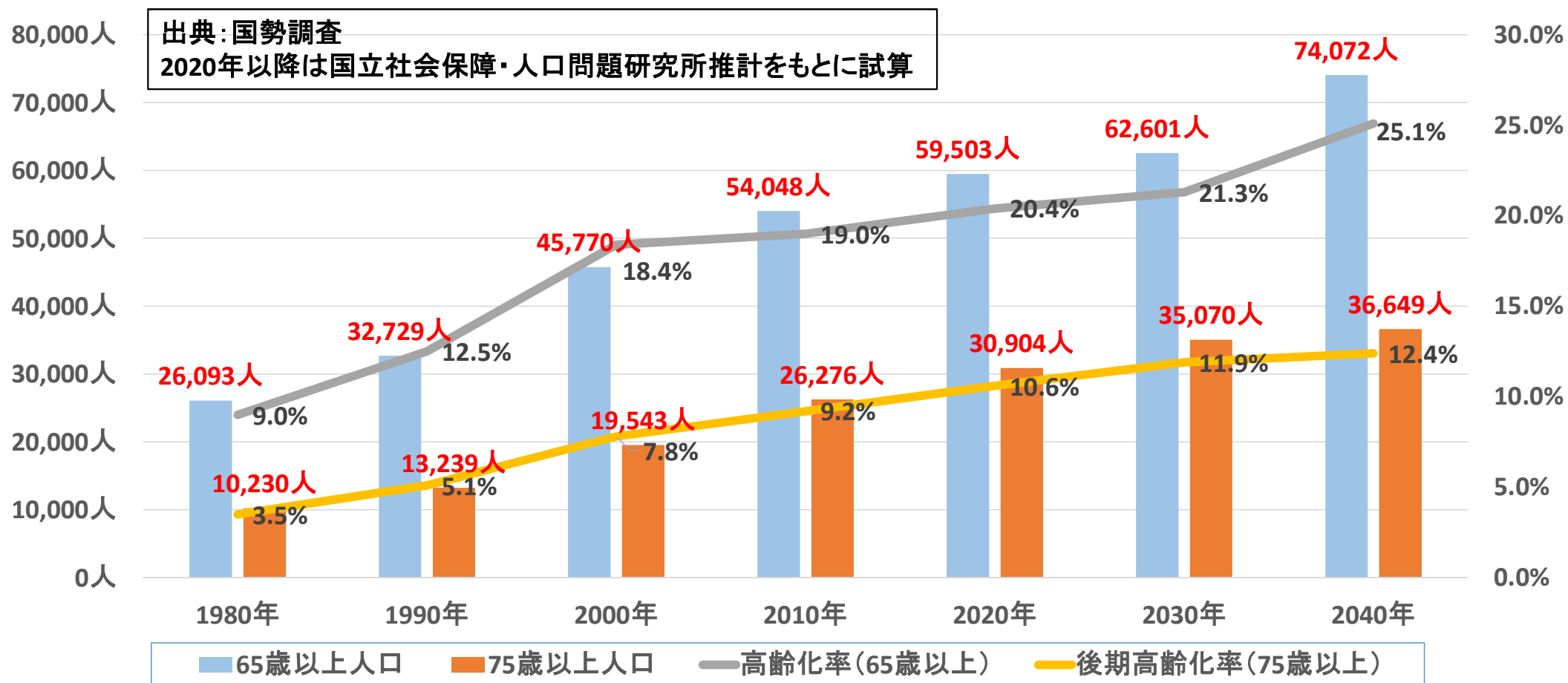


令和元年7月12日 保健福祉部 総合高齢社会対策推進室

I 豊島区の現状と課題

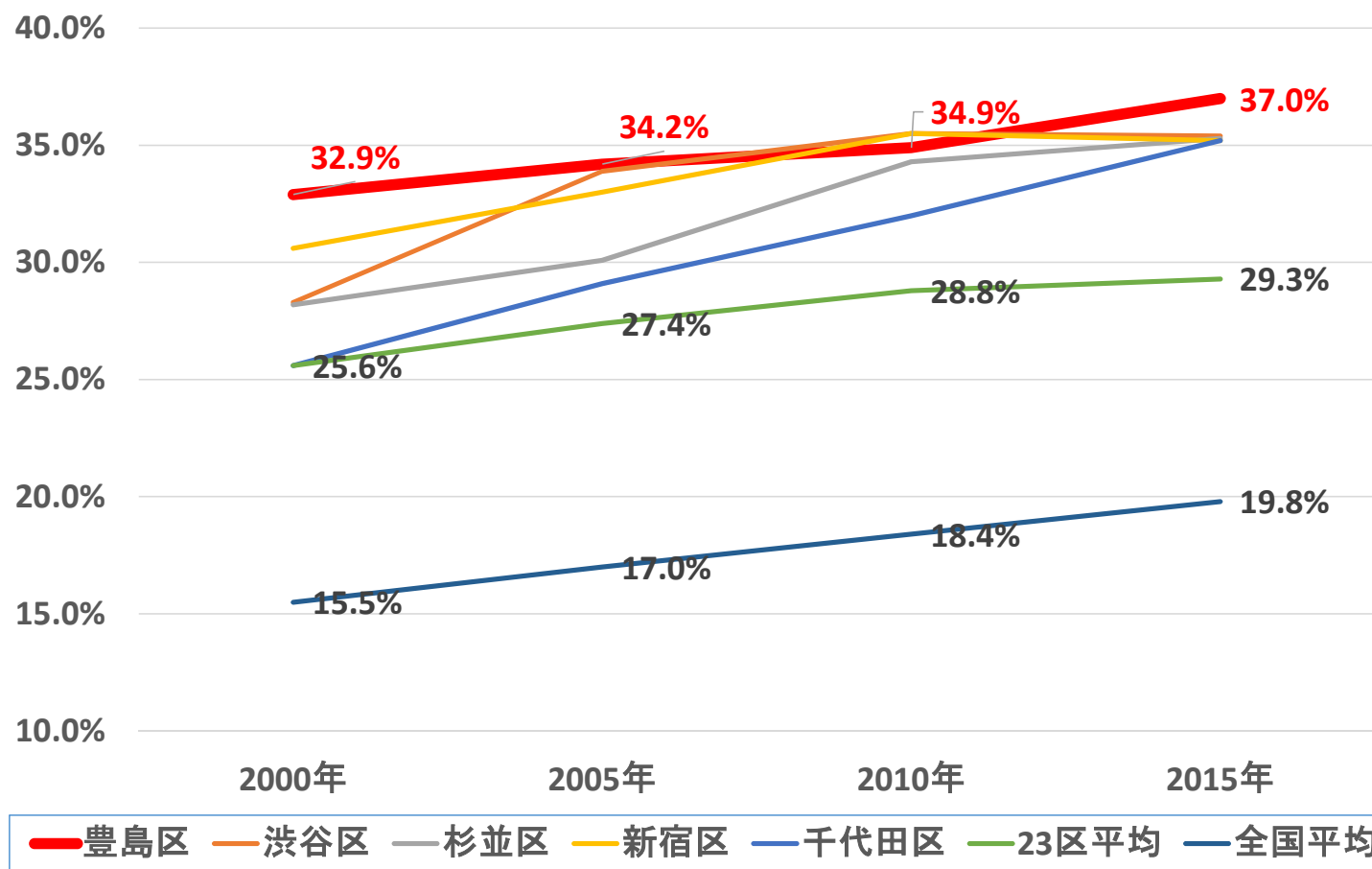
1 豊島区の高齢者数と高齢化率の推移

- ・ 豊島区の高齢者数は漸増
- ・ 2040年には区民の4人に1人が65歳以上、8人に1人が75歳以上に



2 豊島区の75歳以上一人暮らし高齢者割合の状況

- ・ 豊島区の75歳以上人口に占める一人暮らしの割合は**全国区市1位**
- ・ 全国平均の約2倍



| 全国区市ランキング | | |
|-----------|-------|-------|
| 1位 | 豊島区 | 37.0% |
| 2位 | 渋谷区 | 35.4% |
| 3位 | 杉並区 | 35.3% |
| 4位 | 新宿区 | 35.2% |
| 5位 | 千代田区 | 35.2% |
| | 23区平均 | 29.3% |
| | 全国平均 | 19.8% |

出典：2015年国勢調査

3 豊島区の一入暮らし割合の状況

- ・ 豊島区の人口に占める一人暮らしの割合は、高齢者に限らず全世代で高い
- ・ 副都心3区が上位の傾向

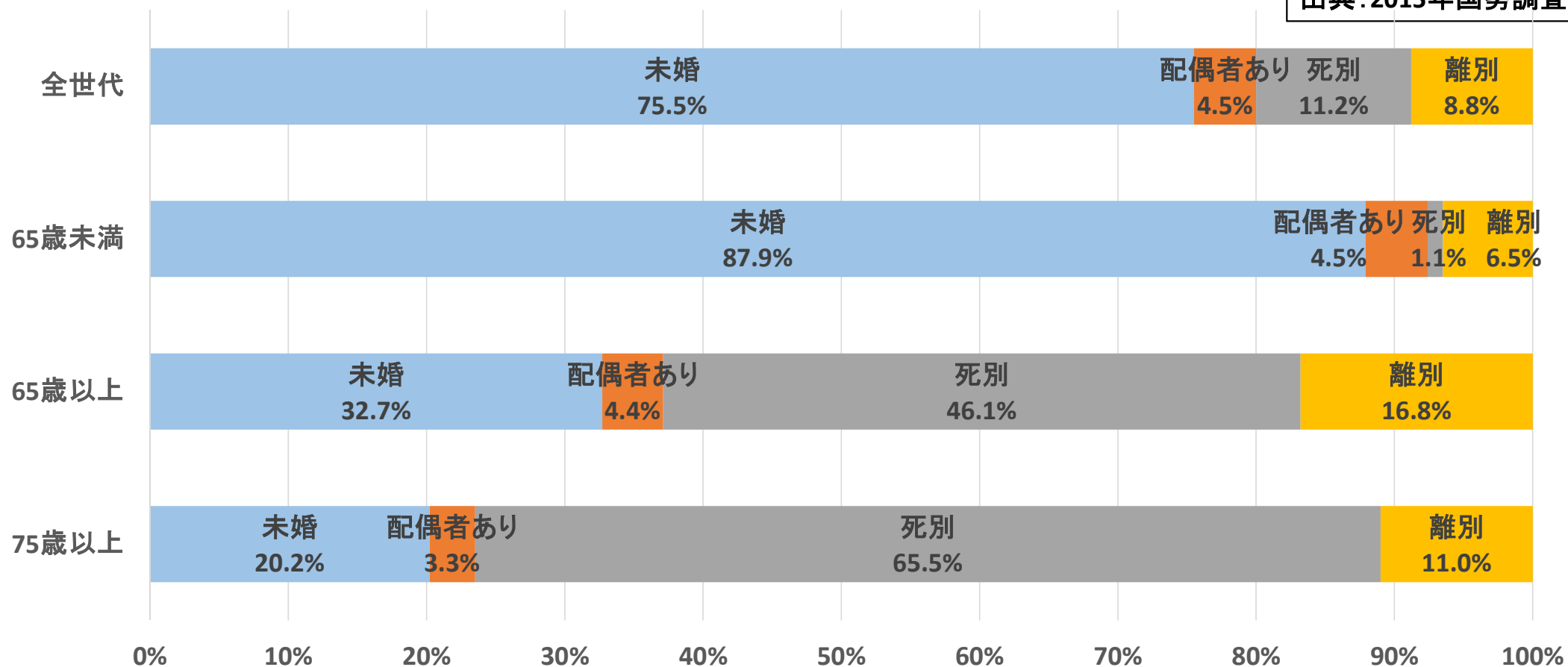
出典：2015年国勢調査

| | 豊島区割合 | 全国区市ランキング | | | | |
|-------|-------|-----------|------|------|------|-------|
| 全世代 | 38.4% | ①新宿区 | ②豊島区 | ③渋谷区 | ④中野区 | ⑤千代田区 |
| 65歳未満 | 39.5% | ①新宿区 | ②豊島区 | ③渋谷区 | ④中野区 | ⑤千代田区 |
| 65歳以上 | 33.8% | ①渋谷区 | ②豊島区 | ③新宿区 | ④杉並区 | ⑤中野区 |
| 75歳以上 | 37.0% | ①豊島区 | ②渋谷区 | ③杉並区 | ④新宿区 | ⑤千代田区 |

4 豊島区の単身者の婚姻状況

- ・ 豊島区の65歳未満単身者の9割、75歳以上単身者の2割が未婚(婚姻歴なし)
- ・ 未婚割合は、65歳以上が**全国区市3位**、75歳以上が**全国区市4位**

出典：2015年国勢調査



5 一人暮らし割合が高い要因の分析

- ・豊島区は東洋経済新報社「住みよさランキング2019」の「利便度」で**全国2位**
- ・一人暮らし割合が高い自治体は、生活利便度が高く、狭小住戸が多い傾向

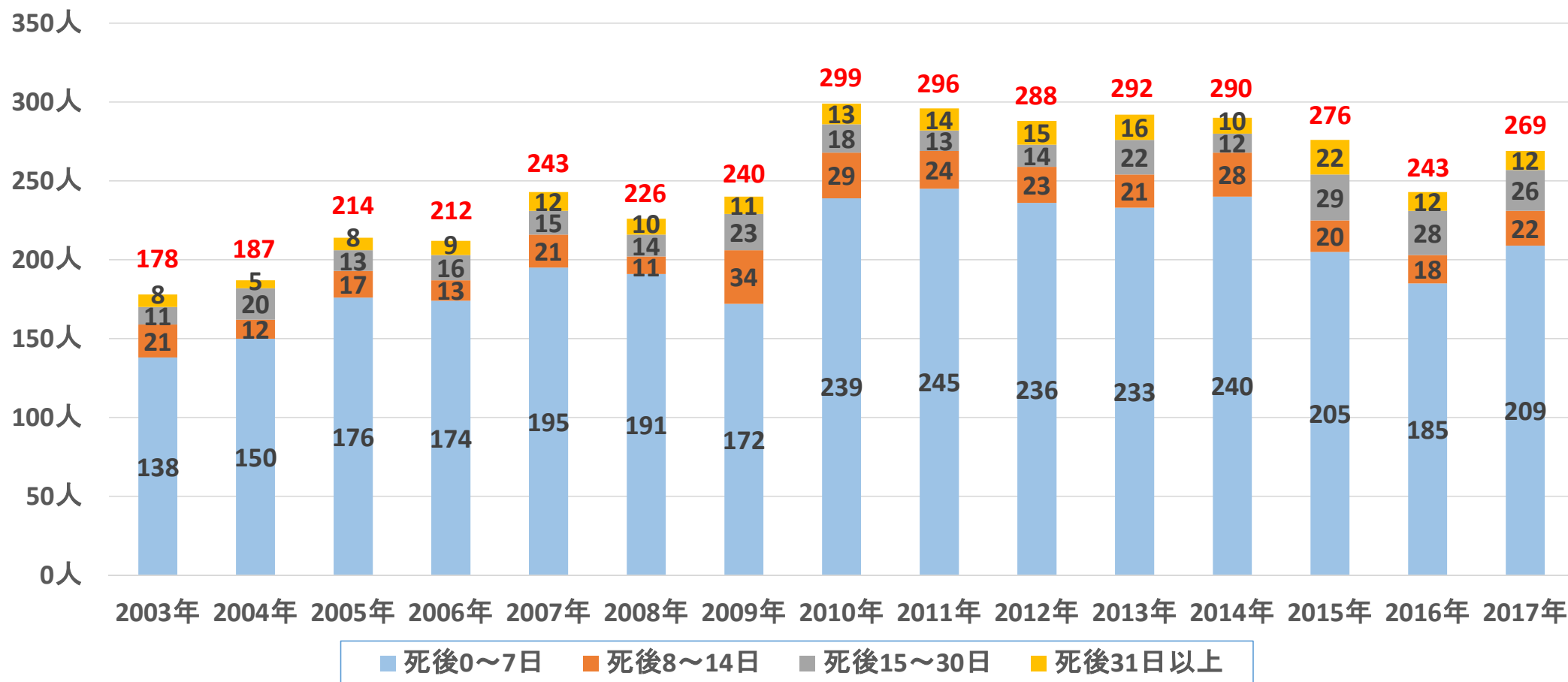
| 生活利便度 | 全国区市ランキング | | | | | 出典 |
|--------------|-----------|-------|-------|-------|------|-----------------------|
| 利便度 | ①渋谷区 | ②豊島区 | ③新宿区 | ④武蔵野市 | ⑤台東区 | 東洋経済新報社 (都心3区は対象外) |
| コンビニエンスストア密度 | ①千代田区 | ②新宿区 | ③台東区 | ④中央区 | ⑤豊島区 | 商業統計調査 |
| ドラッグストア密度 | ①新宿区 | ②豊島区 | ③千代田区 | ④中央区 | ⑤港区 | 商業統計調査 |
| 診療所密度 | ①中央区 | ②千代田区 | ③港区 | ④渋谷区 | ⑤豊島区 | 医療施設調査 |

| 住宅 | 23区ランキング | | | | | 出典 |
|----------|----------|------|------|------|------|-----------|
| 狭小住戸割合 | ①中野区 | ②新宿区 | ③豊島区 | ④杉並区 | ⑤文京区 | 住宅・土地統計調査 |
| 民営借家居住割合 | ①中野区 | ②豊島区 | ③新宿区 | ④杉並区 | ⑤渋谷区 | 国勢調査 |

6 豊島区の孤立死の状況

- ・ 豊島区の孤立死(誰にも看取られることなく、亡くなった後に発見される死)は増加傾向
- ・ この15年間で約1.5倍に

出典: 東京都監察医務院で取り扱った自宅住居で亡くなった者の統計



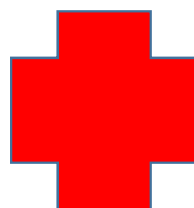
7 直面する課題

加えて、一人暮らし高齢者が多いと...

【高齢社会における一般的課題】

- 社会保障制度の維持
- 労働力の減少
- 病院・施設の対応限界
- 無年金者・低年金者への対応
- 生活保護の増加
- 公共インフラ・住宅の老朽化
- 団地・民間マンションの建替
- 地域全体のバリアフリー化

【参考】東京大学高齢社会総合研究機構資料



【社会的孤立のリスク】

- 生きがいの低下
- うつ・認知症になりやすい
- 疾病予防・介護予防が困難
- 高齢者の引きこもり
- 孤立死
- 消費者被害のリスク
- 高齢者による犯罪のリスク
- 地域力の低下

【参考】平成23年版高齢社会白書

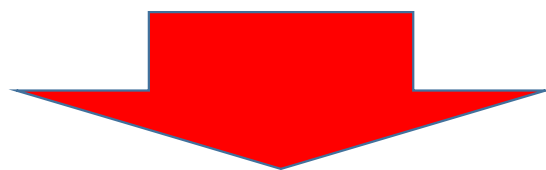
高齢化への対応がより困難に！

Ⅱ 総合的な高齢社会対策の推進

8 豊島区が今なぜ総合高齢社会対策に取り組むのか？

豊島区はこれまでもCSW、区民ひろば、セーフコミュニティなど
先進的な取り組みを行ってきた

しかし、一人暮らし割合が高い、人口過密、外国人が多いなど
他自治体と比べて高齢化への対応がより困難



課題先進都市である豊島区は
他都市よりも一歩先んじた対策を

9 基本方針

- 豊島区の強みである「文化」、「セーフコミュニティ」の資源・経験を最大限に活用

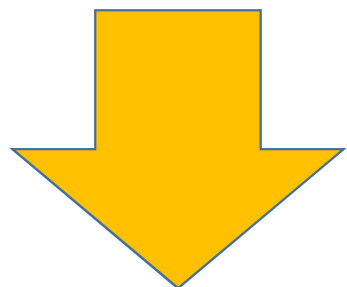
区民・各種団体・民間企業等の総力を結集した
「オールとしま」による推進

科学的データに基づく効果的・効率的な対策

分野横断・総合的な取り組みで
新たな価値を創出

「高齢者にやさしいまち」
日本一へ

対策目標



豊島区が目指す 将来像

●社会的孤立ゼロ

【社会的孤立とは】家族や地域社会との交流が、客観的にみて著しく乏しい状態（出典：平成23年版高齢社会白書）

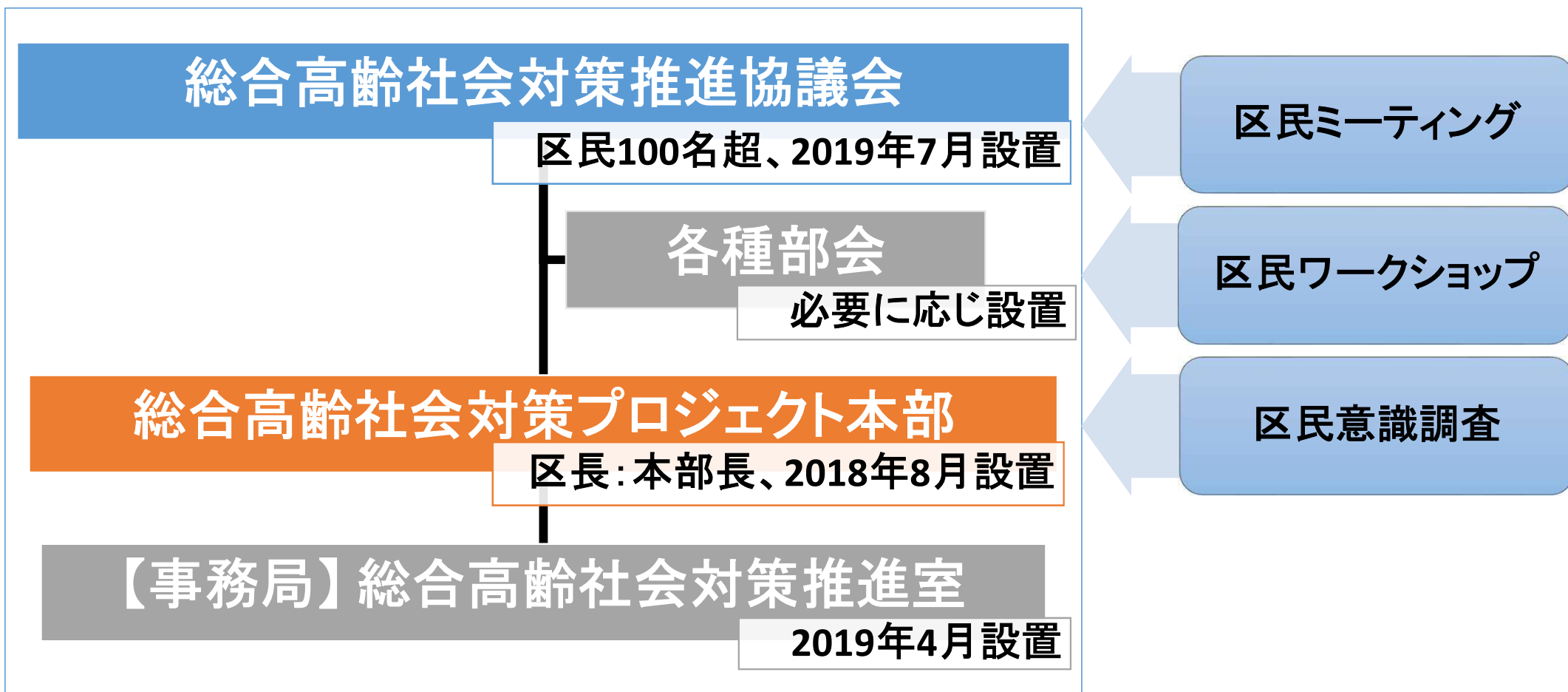
【2019年度末までに】民生委員・児童委員の欠員ゼロ

【2022年度末までに】75歳以上高齢者の孤立死ゼロ

●日本一の「高齢者にやさしいまち」

11 推進体制

- ・ 区民参加の「推進協議会」を中心とする「オールとしま」推進体制
- ・ 区民ミーティングをはじめ、様々な機会を捉えて幅広い区民の意見を反映



12 当面の取り組み① 社会とつながる「30のアプローチ」

- ・ 2019～2020年度の集中対策
- ・ **見守りの充実、民生委員の欠員解消**など、区民の実感につながる取り組みに重点

| 健康 | 安全・安心 | 文化・コミュニティ |
|------------------|------------------|---------------------|
| ① フレイル対策センターの整備 | ⑪ 地域包括ケア(見守りの充実) | ⑲ CSWの強化 |
| ② 「としまる体操」の普及 | ⑫ 民生委員・児童委員の欠員解消 | ⑳ 区民ひろばの充実 |
| ③ シルバー人材センターの活性化 | ⑬ 選択的介護モデル事業 | ㉑ 福祉と文化の融合 |
| ④ 池袋保健所の機能拡充 | ⑭ 在宅医療連携体制の強化 | ㉒ 高齢者クラブへの支援充実 |
| ⑤ 健康センターの整備検討 | ⑮ 住宅・福祉連携による居住促進 | ㉓ 秩父市との「二地域居住」 |
| ⑥ がん対策の推進 | ⑯ 終活支援 | ㉔ 子ども・若者と高齢者の交流促進 |
| ⑦ 受動喫煙対策の推進 | ⑰ 福祉包括化推進体制の整備 | ㉕ 地域支え合いの担い手養成 |
| ⑧ 多剤服用対策の推進 | ⑱ 福祉人材の確保・育成強化 | ㉖ アトカル特命大使の参画促進 |
| ⑨ 生涯学習・スポーツ施設の整備 | ⑲ 介護施設の整備 | ㉗ 中小規模公園活用プロジェクト |
| ⑩ 公共施設等のバリアフリー推進 | ⑳ 防犯カメラの設置促進 | ㉘ 「グリーンとしま」再生プロジェクト |

13 「30のアプローチ」の進捗



東池袋フレイル対策センター 2019年5月開設



特別養護老人ホーム池袋ほんちょうの郷
2019年6月開設

14 当面の取り組み② 現状分析・機運醸成

【現状分析・課題抽出】

- ・ 現行事業洗い出し、他自治体データ分析
- ・ 区民意識調査、産官学連携による調査研究

【機運醸成】

- ・ こども標語・絵画コンテスト
- ・ ウェブサイト開設、イベント開催

【行動計画策定】

- ・ 来年度の基本計画改定に併せ、策定検討
- ・ 「行政の行動計画」、「区民の行動計画」等

【基金設置】

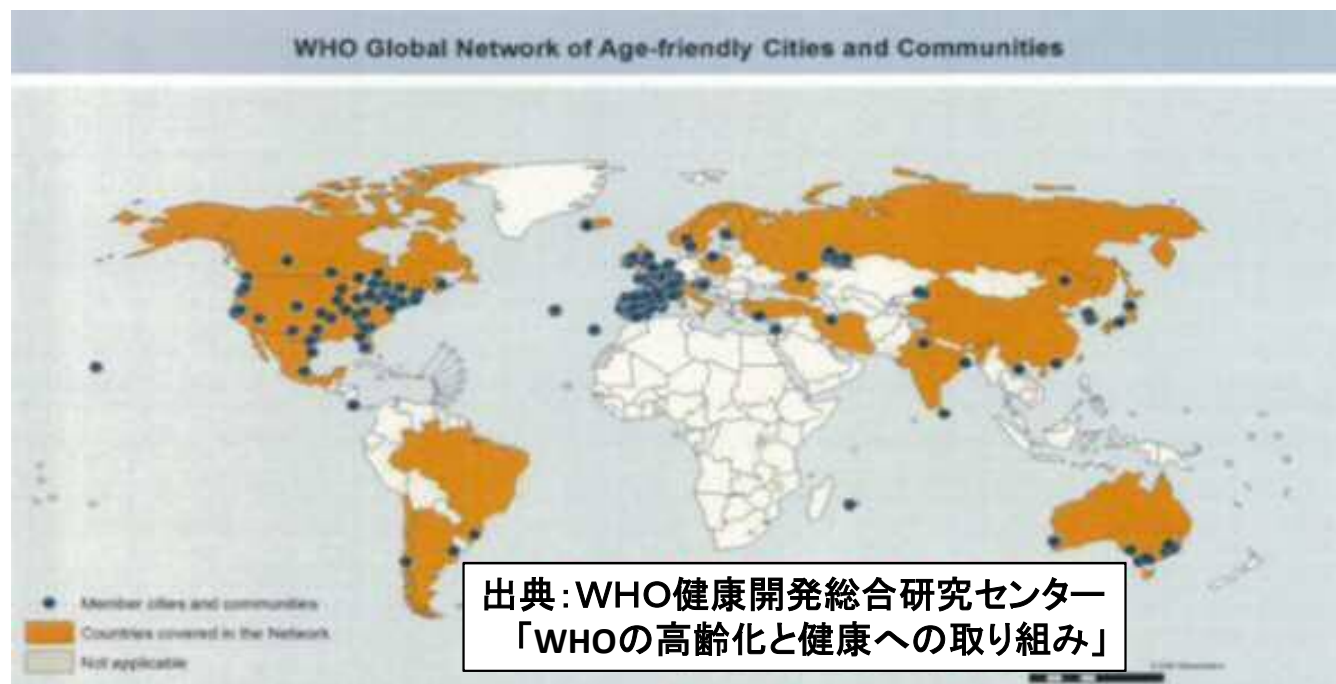
- ・ 2019年3月
「総合高齢社会対策基金」設置
- ・ 2019年5月
過去3か年の寄附受入相当額積立
102,583,375円
- ・ 「寄附」という形の新しい参画のあり方を提案 ⇒ 「寄附文化」の醸成



15 当面の取り組み③ エイジフレンドリーシティ推進

- ・ 中長期の取り組みとして、WHOが提唱する「エイジフレンドリーシティ」の実現を目指す
- ・ 「8つのトピック」に基づく継続的な改善で「高齢者にやさしいまち」を実現

- ① 屋外スペースと建物
- ② 交通機関
- ③ 住居
- ④ 社会参加
- ⑤ 尊敬と社会的包摂
- ⑥ 市民参加と雇用
- ⑦ コミュニケーションと情報
- ⑧ 地域社会の支援と保健サービス



ニューヨーク、パリ、ロンドンをはじめ、世界41か国、847都市
(2019.6.1現在)が参加。日本国内では24自治体

16 日本一の「高齢者にやさしいまち」実現へのロードマップ

